

REMOTE BOOT CAMP
for
PROJECT MANAGER
のご案内

whyme 株式会社

2023年4月版
コンサルティングファーム様 向け

こんなお悩みを抱えていませんか？

コンサル案件は増えているけど、品質を担保できるプロマネが不足…

コンサルティング・ファーム
人材採用・開発担当



プロマネのスキルを持つ人材を採用することが難しい。専門技術の習得は支援はしているが、それ以外は手が回らない…。どうしてもOJT任せ…

コンサルティング・ファーム
事業部長



プロマネがもっといれば、案件を受注できるんだが、プロジェクトを任せられるプロマネが多くない。かといって、自分がプロマネを育てる余裕もそんなにない…

プロジェクト・マネージャー



クライアントに振り回され…スタッフのケアもしないと…。プロジェクトをどのように進めてよいか悩んでいるが、上司にも相談できず右往左往している…

プロマネに求められるスキルが高度化しています

プロジェクトはより複雑になり、従来のスキルだけでは対応困難

VUCA

時代の到来

【顧客への影響】 課題が複雑になり、何をコンサルに依頼すれば良いかわからない状態

【コンサルへの影響】 最適解がわからず、どのように解決したらよいかわからない状態

TECH

の革新・発展

【顧客への影響】 低価格のSaaSサービス（ChatGPT等）の導入が拡大している

【コンサルへの影響】 コンサルティングがSaaSサービスに一部置き換えられている

プロマネに適した育成方法は確立されていません

特に、Soft & Meta-Skillsは学び⇔実践する手段が少ないのが現状

Hard-Skills(専門知識)

Udemy YouTube 社内研修
GLOBIS 学び放題 Schoo ケース
スタディ

専門知識は形式化しやすいため
ローコストかつコンテンツも充実している

Soft & Meta-Skills

?

(対人コミュニケーション・スキルやGRIT等)

実践での個別対応が求められるため
学ぶ手段が少ない

10週間でSoft & Meta Skillsを開発する“BOOT CAMP for プロマネ”

様々な課題を抱えるプロマネに応える

“② Remote Coaching”



PJT実践しながら、学び⇔実践を繰り返す

“① Project-based Learning”



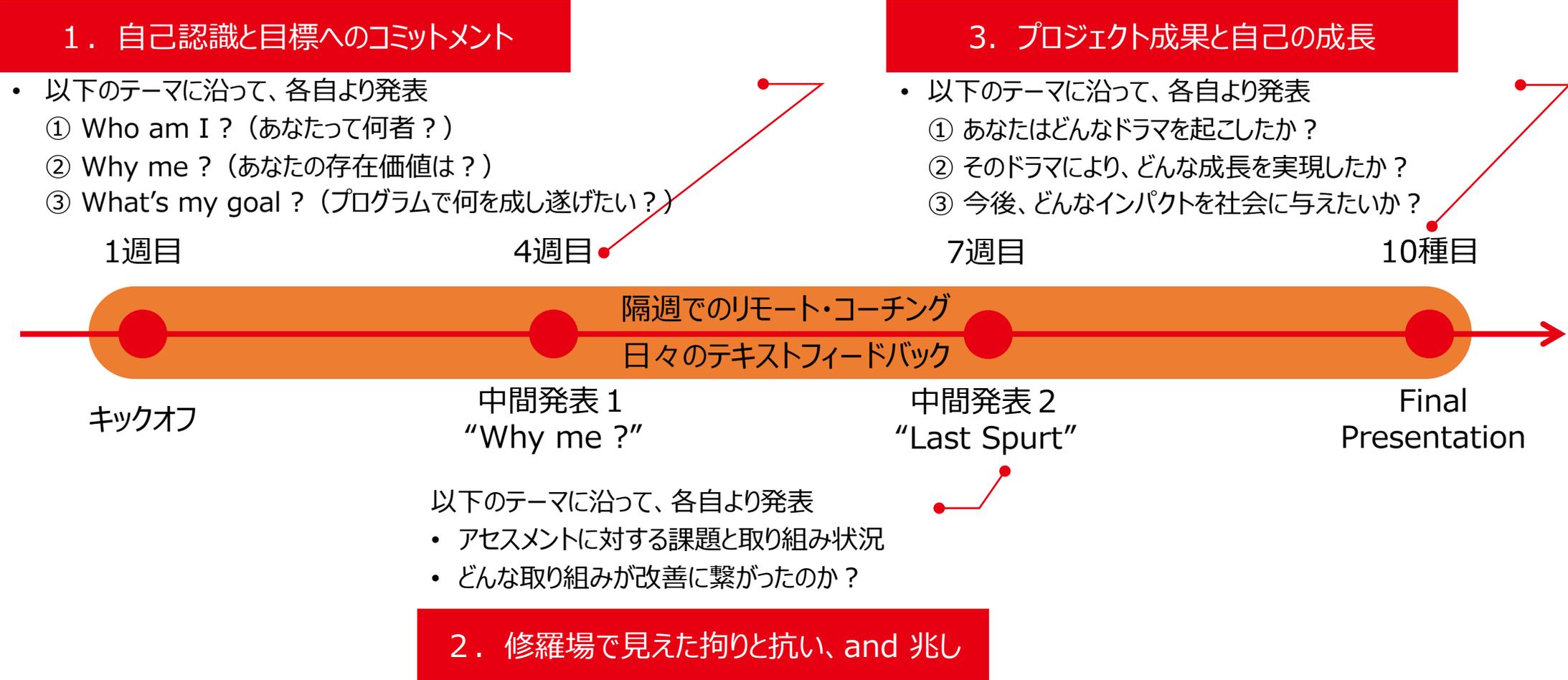
プロマネの実践結果から最適な学習を提案

“③ AI-driven teaching”



① Project-based Learning (10週間プラン)

参加者一人ひとりがPJT実務で目標設定を行い、スキルアップに挑戦

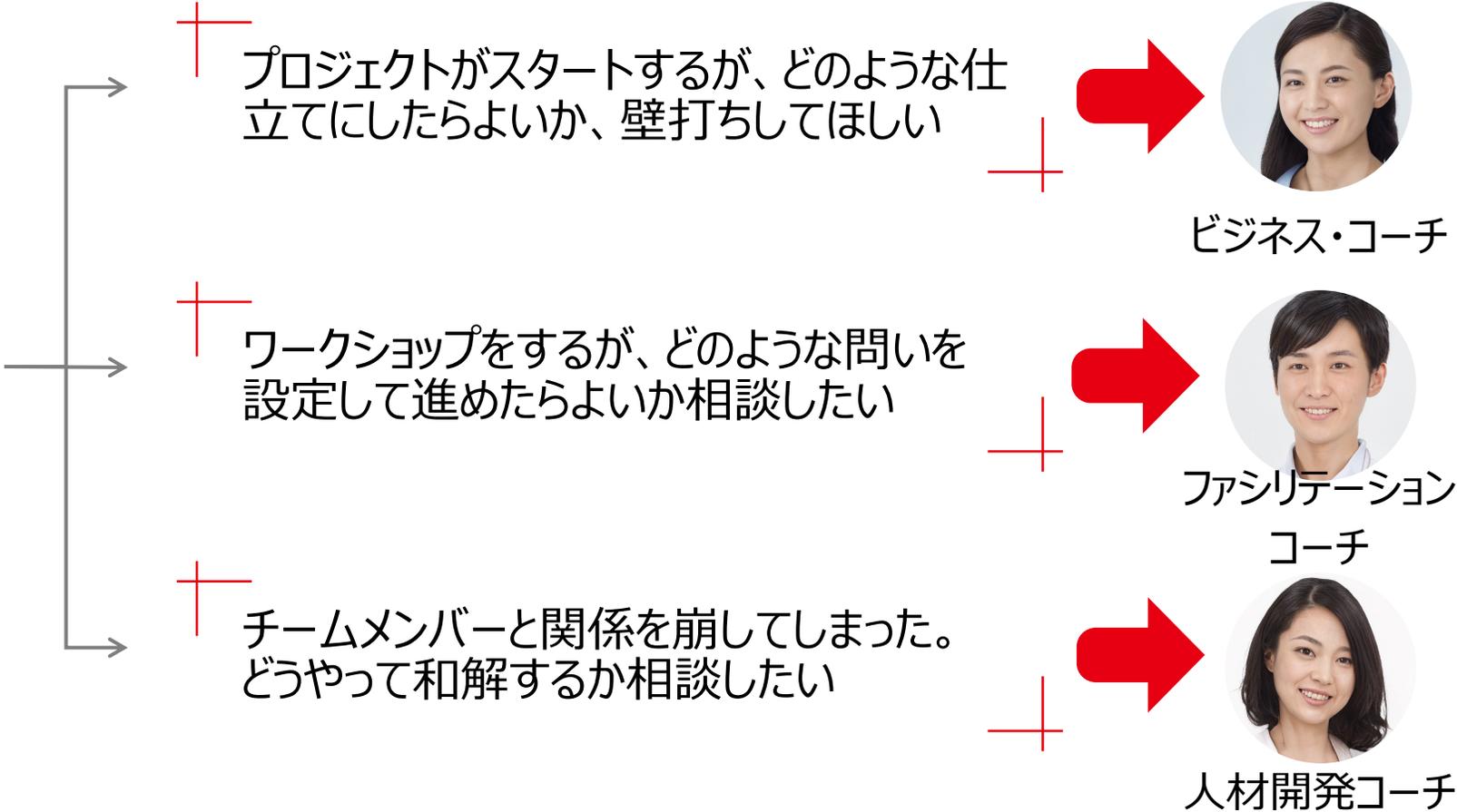


② Remote Coaching

多種多様な課題を抱えているプロマネのために専任コーチがサポート



プロマネは多種多様な課題を抱えている



② Remote Coaching

コーチングのテーマは、各々のプロマネが設定します

No.	区分	プロマネからの相談内容（事例）
1	プロジェクト・コントロール	次フェーズの受注獲得に向けて、どのようにクライアントを巻き込んでいくべきか相談したい
2	プロジェクト・コントロール	プロジェクトのクローズに向けて、プロジェクトの成果の見せ方や落としどころについて相談したい
3	チーム・ビルディング	新しいプロジェクトがスタートするが、クライアントに当事者意識を抱かせるキックオフの仕立てを相談したい
4	チーム・ビルディング	プロジェクトの負荷が高く、卑屈になっているスタッフを前向きにさせたい
5	ファシリテーション	ワークショップを企画しているが、新たな施策を検討するための“問い”の設計の壁打ちになって欲しい
6	ファシリテーション	本来、プロとして私が経営会議で言うべきことができない、どうしたら、言い切れるようになるか？
7	コーチング	コンサルタントとして、どうやって強みを作っていったら良いか、相談したい
8	コーチング	1年ほど同じプロジェクトにアサインされている。新しいことも挑戦したいが、会社に残るべきか相談したい

③ Ai-driven Teaching

プロマネの日々の行動を起点に、アプリが最適な学習を提供



- 1～3分/日から始められる**“振り返り”**
⇒ 入力は simple & easy だから、毎日続けられる
- 日々の気づきを促す**“マイクロ動画”** ※1月末時点で50本リリース済
⇒ 日々の振り返り結果に応じて、3～5分程度の最適な動画を提案
- お互いの振り返りをシェアする**“タイムライン”**
⇒ プロマネ同志で、お互いの挑戦も悩みもシェアして励まし合おう
- 毎日届くプロ・コーチの**“フィードバック”**
⇒ プロ・コーチが、あなたの振り返りに客観的な視点でコメント・バック

プログラムの参加者は、成長・成果を実感しています

- これまで業務改善やIT導入したことがなく、経営者とともに会話することができなかつたし、既存のスキルの延長でしかリピートが受注できなかった。
- 今回、コーチのアドバイスをもとに、より経営アジェンダに近い内容で提案したら、スコープを拡大してリピートの受注につながりそう。

プロマネ候補Aさん

- 新しいプロジェクトをスタートする際に、どうやってクライアントのメンバーを巻き込んだら良いかわからなかった。
- コーチに相談して、誰をどの順番で巻き込んだらよいかクリアになり、WBSのアクションアイテムが明確化された。

プロマネ候補Bさん

- アセスメントの結果を受けて、プロマネとして必要とされるスキルのうち、自分に何が足りてないか明確化された。
- 自分ができていると思っていたことが、結構、目線が低いことに気がついた。アセスメントを日々のチェックシートとして活用している。

プロマネ候補Cさん

- 最初、なんで毎日毎日振り返りをしないといけないか理解できなかった。だけど、言語化してみると、自分の考えがかなり浅いことに気づいた。
- もっと、なぜなぜ分析しないと自分の行動が変わらない。“解像度をあげる”が最近の口癖になっている。

プロマネ候補Dさん

- 誰かはわからないけど、タイムラインに流れてくる他ユーザーの振り返りが励みになっている。これまで一人で学習してきたが、どうしても長続きしなかった。
- 同じことで悩んでいるんだなと思うこともあるし、負けそうな時に自分も頑張らないとって毎日奮起している。

プロマネ候補Eさん

- クライアントから「君たちじゃ話にならないから、パートナーを呼んでくれ」と言われて悔しかった。だけど、スタッフだから…経験がないから…と甘えていたし、失敗したらどうしようとビビっていた。
- クライアントに真正面から伝える言い切ることを意識したら、意外と聴いてくれた。

プロマネ候補Fさん

10週間でプロマネ候補者のスキルはAVE 27% UP

アセスメント項目（合計110問）

プロジェクト・コントロール

1. クライアント・コントロール
2. ステークホルダー・コントロール
3. スコープ・コントロール
4. タスク・コントロール
5. リソース・マネジメント
6. リスク&リカバリーマネジメント

チーム・ビルディング

1. リーダーシップ
2. チーム・ビルディング
3. ミーティング・プランニング
4. コミュニケーション
5. ターニングポイントの仕掛け
6. 人材開発&エンゲージメント

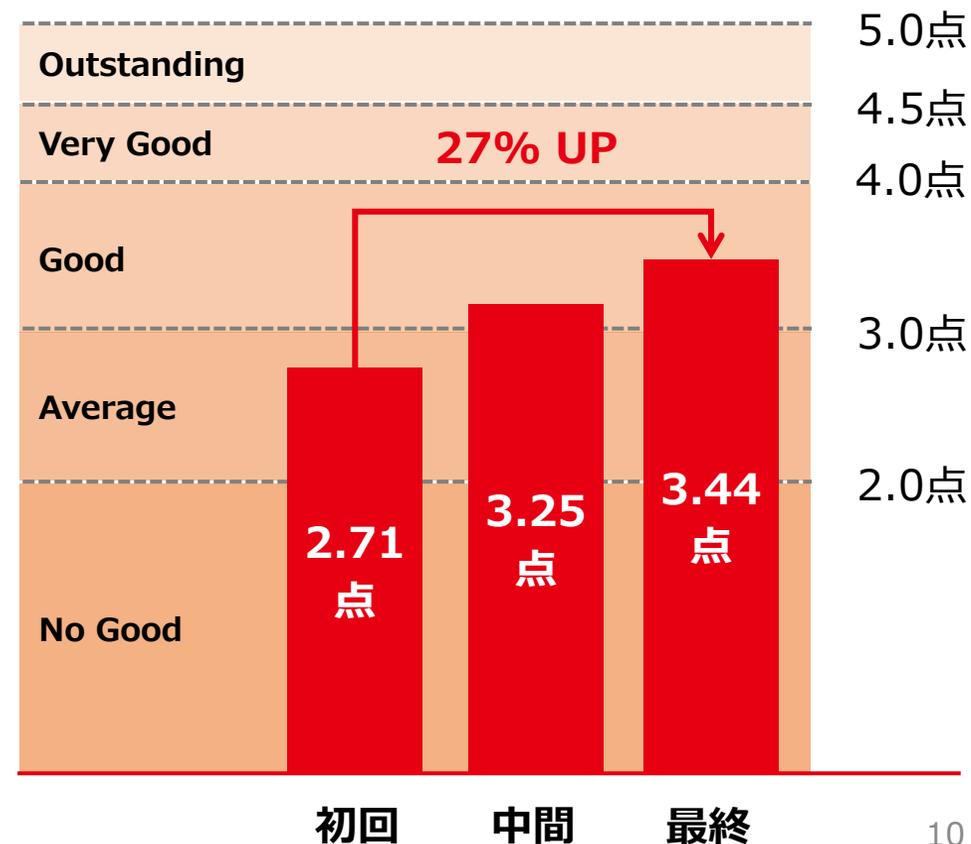
ファシリテーション

1. エンパワーメント力
2. 場の観察力
3. 情報編集力
4. リフレーミング力
5. 場のホールド力

コーチング

1. 信頼関係の構築
2. 傾聴力
3. 問い掛け力
4. フィードバック力
5. 行動を促す力

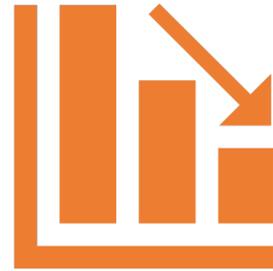
プロマネ候補6人の 全体平均点の比較



他サービスとの比較

	<i>whyme</i>	コーチング スクール	PMP資格取得 スクール（研修）	eラーニング
目的	プロジェクトを成功させるためのプロマネSoft-Skillの向上	コーチング型マネジメントの体得や資格取得	PMP等のプロジェクト・マネジメント資格の取得	基礎ビジネススキルや専門知識の習得
Pros	PJT実務を通じて学び⇒実践を繰り返すため、PJTで成果が出やすい	学び⇔実践を繰り返すため、スキルが定着化しやすい	プロマネに必要な知識を体系立てて学ぶことができる	低価格で大量の教材が揃っており、簡単に導入できる
Cons	個人最適化するため、費用は高い。そのため、参加者を選ぶ必要がある	組織マネジメントがテーマのため、プロマネとは領域が異なる	研修終了とともに、忘れてしまうことが多い	学習の継続性や、学びの実践での活動に課題
PJT最適化	★★★	★★	★★	★
定着化	★★★	★★★	★	★
ROI	★★★	★★	★	★
一人当たり 費用	50万円/約3ヶ月	60～80万円/6ヶ月	10～15万円/5日	0.1万円/人

我々はコンサルティング・ファーム様の成長・拡大に貢献



プロジェクト品質の向上



- リピート受注による売上拡大
- クレーム対応を新規営業に転換

離職率の低下



- 新規採用費用の低減
- プロジェクト品質の安定化

エンゲージメントの向上



- 企業ブランドの向上
- 新規採用のしやすさ改善



whyme

Open up your potential

問い合わせ先

- 鈴木隆之 (Takayuki Suzuki)
- TEL : 080-3686-3232
- E-MAIL : takayuki.suzuki@whyme-coach.com